科目名 Subject	応用ネイル技術 Applied Nail Techniques		教員名	ネイルチーム	
開講年次	1	開講時期	後期	単位	2
必修／選択	選択必修	授業形態	実習	時間	60
実践的教育	○				
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・コミュニケーション力
	◎	◎	◎	○	◎
科目の概要	基礎ネイルで習得した技術を踏まえ、ネイル技術のレベルアップ、及び作品としてのネイルアート制作を行う。美容室でも扱うことのできる時間短縮のためのソークオフタイプのジェル技術についても学ぶ。関連科目として、トータル的な美を追求するために選択必修の「メイクアップⅡ」や、接客力を養うために２年次の前期に開講される「接客・接遇法」を選択することが望ましい。				
授業の目標	ネイルの器具、用具を正しく扱うことができ、技術理論に基づいた作業を行うことができるようになる。コンテストでの入賞を目指す。年齢を問わずお客様に合わせたネイル技術を提供できるようになることを目標とする。爪を健やかに保つために、加齢による爪の病気などを見極め、お客さまに適切なアドバイスを行うことができる。				
時間外学習 （予習・復習）	ネイルの資格取得にあたり、授業以外においても各自で反復練習を行うこと。技術においては1回につき60分～90分程度の復習を行なうことが望ましい。				
教科書・教材	教科書	JNAテクニカルシステムBASIC　発行　NPO法人日本ネイリスト協会			
	教材	配布教材は別紙参照　＊授業初回で配布します			
	使用設備・備品	美容実習室・水道			
	参考文献	ネイル・プロッフェッショナル　第４版　発行　株）インターメディカル			
評価方法	授業内の参加意欲、ネイルに関するコンテストへの参加や受賞は評価に反映します。筆記試験内容は、主に授業で配付するテキストより出題し、実技試験は授業内での作品制作を含めて評価します。授業態度20%、筆記40%・実技試験40%				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	個別に実地指導を行います。				
履修上の注意	授業の実習について開講期間中はナチュラルネイルとし、カラーリング、人工爪などは全て除去してきてください。授業内で迷惑行為にあたる言動は慎むこと。 ＊基礎ネイル技術単位取得が履修条件です。				
本科目履修と関連する資格	資格名	ネイリスト技能検定試験　２級			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１回	オリエンテーション 道具、器具の説明 テーブルセッティング	道具、器具、マニキュア化粧品の成分を理解することができる。	
第２回	ネイルケア・カラーリング チップラップを自分の爪で練習する	前期の技術を手順どおりに施術することができる。チップラップ技術の手順を覚えることができる。	
第３回	チップラップを相モデルで練習する	チップラップ材料の特長、使用方法を理解することができる。	
第４回	シェラック① 「ジェル」と「ポリッシュ」の強みを併せ持った、ハイブリッドネイルケアシステムを学ぶ	材料の特長、使用方法を理解することができる。	次週までにアートのデザインを考えてくる
第５回	シェラック②　自分の爪で練習する	アート用の素材を使用しデザインすることができる。	検定受験者グループはタイム計測を実施する
第６回	シェラック③作品制作	バランスを考えてネイルチップにデザインすることができる。	次週のアートのデッサンを考えてくる。その他、必要に応じて装飾品を持参する。
第７回	ハロウィンアート制作	色彩と共にテーマに沿ったアートを描くことができる。	検定受験者グループはタイム計測を実施する
第８回	ハロウィンアート制作	装飾品を使用して作品を作ることができる	検定受験者グループはタイム計測を実施する
第９回	スカルプチュアネイル① 理論 筆の扱い方 フォームの装着	人工爪の理論、製品の特長を理解することができる。	
第１０回	スカルプチュアネイル② 材料の特長と技法を学ぶ	自分の爪に施術することができ技法を理解することができる。	
第１１回	スカルプチュアネイル③ 実技	全ての技術工程において手順通りに施術することができる。	美容実習やメイクアップ等の授業に支障の無いように、人工爪は授業内で除去する。
第１２回	スカルプチュアネイル② 材料の特長と技法を学ぶ	全ての技術工程においての時間を意識して施術することができる。	
第１３回	チップオーバーレイ	技術の理論と製品の特長を理解することができる。	
第１４回	チップオーバーレイ	正しく製品を扱い、自分の爪に施術することができる。	
第１５回	３Ｄ、エンボスアート技術	材料の特長を理解することができる。	

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１６回	３Ｄ、エンボスアート② アート制作の練習	アクリル素材を使用して立体的にアートを表現することが出来る。テーマを考えて作ることができる。	次週のアートのデッサンを考えてくる。その他、必要に応じて装飾品を持参する。
第１７回	「クリスマス」又は「和」をテーマにした作品制作	色彩と共にテーマに沿ったアートを描くことができる。	
第１８回	「クリスマス」又は「和」をテーマにした作品制作	装飾品を使用して作品を作ることができる・	
第１９回	ジェルネイル① 理論	ジャータイプのジェル用品の理論と使用法を理解することができる。	
第２０回	ジェルネイル② フローター オフの方法	材料の使用法を理解し、自分の爪に施術することができる。	
第２１回	ジェルスカルプチュア①	材料の理論と使用法を理解することができる。	美容実習やメイクアップ等の授業に支障の無いように、人工爪は授業内で除去する。
第２２回	ジェルスカルプチュア② 実技	相モデルで実践し、手順どおりに施術することができる	
第２３回	ジェルネイル③ 相モデルに施術する	爪の形状を１０指揃えて、手順通りに施術することができる	事情により自分の爪に施術できない場合はネイルチップにて練習を行なう。
第２４回	ジェルネイル④ 相モデルを交替して行う	爪の形状を含め、相手の要望どおりにデザインすることができる。	
第２５回	人工爪とアート①	スカルプチュアネイルとエンボスアートを行なうことができる。	
第２６回	人工爪とアート② 技術の復習	スカルプチュアネイルとエンボスアートを時間内に行なうことができる	
第２７回	ネイル技術のまとめ 理論と技術	チップラップ・スカルプチュア・３Dを取り入れ独創的なネイルアートの作品を制作することができる。	
第２８回	ネイル技術のまとめ 理論と技術	チップラップ・スカルプチュア・3Dを取り入れ独創的なネイルアートの作品を制作することができる。	
第２９回	ソークオフジェル	実技の手順を習得し、仕上がりまでの時間を意識して施術することができる。	
第３０回	ソークオフジェル	実技の手順を習得し、仕上がりまでの時間を意識して施術することができる。	